

ロータリー  
変化をもたらす

# 帯広西ロータリークラブ 第2191回例会 2017.8.10 会報



## ■RI第2500地区テーマ■

今こそ行動を！  
ークラブが元気になるために  
地区が元気であるために  
そして 私たちの未来のためにー



## ■クラブ・テーマ■

積極的に奉仕し、成長しよう

## 会長報告

石原英樹 会長

皆さんこんにちは。

7月5日からの大雨による、九州北部の各地で多くの被害が出ました。福岡県と大分県で35人が犠牲に、いまだ行方不明者の捜索が続いています。当クラブとして義援金を贈ることを理事会にて決定させて頂きました。社会奉仕委員会より募金箱を回します。



本日10日は木曜日、明日からお盆休みをされる方も多いと思います。

一昨年まではお盆休みと言えば13日～16日までの4日間と言うのが一般的でした、昨年より11日が祝日となり、お休みが増えた方が多いと思います。この祝日を「山の日」と言い、2014年に制定され、昨年2016年より施工されています。「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ことを趣旨としており、日本山岳会・地方自治体・山岳関係者・自然保護団体等の意見を受け、2013年4月、超党派110名の議員連盟「山の日制定議員連盟」が設立されました。この総会にて何時が良いのか検討されましたが、お盆休みと連続されやすいとしてお盆前の8月12日とする案が採用されました。

しかし8月12日は、1985年の日本航空123便墜落事故と同じ日であり、墜落した場所も御巢鷹の尾根、つまり「山」と言うことから、群馬県選出の小淵優子議員等から違和感を覚える、「山の日」ではなく「御巢鷹山の日」になってしまうということで大澤正明群馬県知事が事故を理由に見直しを求めた結果、議員連盟が最終的に8月11日を「山の日」と決定したそうです。

当初の目的はお盆の前日に制定し休みを連続させることでしたが、間の日12日も併せて休みにす

る会社もあるようで、カレンダーにより大型連休になってしまうことも多く会社側としては頭の痛いところではあります。

またこの11日は「ガンバレの日」でもあるそうです。1936年のこの日、ベルリンオリンピックの女子200メートル平泳ぎ決勝、あの前畑秀子選手が地元ドイツの選手との接戦の末一秒差で見事金メダルを手にしました。日本人女性でオリンピック史上初めての快挙でした。その際にラジオ中継を担当していたNHKの河西三省アナウンサーは実況の中で「前畑がんばれ!前畑がんばれ!」と20回以上連呼し、日本中を熱狂させました。この実況が元となって「ガンバレの日」が制定されたそうです。

本日5回目の会長報告です。

私の場合は、毎週木曜日を「ガンバレの日」として制定させて頂きます。

## 会務報告

萱場誠一 幹事

## ①2017-18年度地区大会開催のご案内

日にち 10月6日(金)～7日(土) 2日間

第1日目(10/6)

記念親睦ゴルフ大会 8:30～

オホーツクカントリークラブ

第2日目(10/7)

受付登録 8:30～

網走市民会館

本会議 9:00～17:30

(昼食 12:00～13:00)

大会記念大懇親会 18:00～19:30

網走セントラルホテル

## ②帯広北RC、8月11日(金)の例会は、祝日のため休会と致します。



会長 石原 英樹  
幹事 萱場 誠一

副会長 佐々木嘉晃  
副会長 小谷 典之

会場監督理事 立崎 貴之  
プログラム委員理事 北川 勝啓

発行：広報委員会  
委員長 柳沢 一元 (副)河西 智子



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)  
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

帯広南RC、8月14日(月)の例会は、休会と致します。

帯広東RC、8月15日(火)の例会は、休会と致します。

帯広RC、8月16日(水)の例会は、休会と致します。

③帯広北RC、家族野遊会開催のご案内

日時 8月19日(土)午後5時30分

場所 十勝川河川敷(道新花火大会会場)

※尚、8月18日(金)の繰り下げ例会と致します。

④帯広東RC、家族野遊会開催のご案内

日時 8月19日(土)午後6時30分

場所 帯広競馬場

※尚、8月29日(火)の繰り上げ例会と致します。

⑤帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日時 8月24日(木)午後6時30分～午後8時

場所 北海道ホテル

※尚、アルコールが出ますので、飲まれる方は運転をお控えください。

⑥帯広西RC、8月31日(木)の例会は、休会といたします。

委員会報告 親睦活動委員会 西藤博行 会員

皆さんこんにちは、皆様の手もとにも今日中にファックスを流させていただきましたが、9月10日の家族野遊会のご案内でございます。本年の家族野遊会は9月10日の日曜日に、新嵐山スカイパークで行なわせて頂きます。



今年はパークゴルフとピザ焼き体験ということで「ますやパン」さんの方からピザ釜内釜を、持ち込んで「ピザの焼き体験」を皆様にしていただこうと思っておりますのでぜひとも奥様お子様、お孫様を多数連れて是非ともご参加のお願いをいたします、以上

ですよろしくお願ひします。

ニコニコ献金

奥田頼昌 会員

佐藤 聡 会長エレクト

ゴルフ同好会コンペ会長でありながら優勝してしまいました。



大友 広明 委員長

同好会で準優勝と競馬も当たりました。

鈴木 享 会員

卓話をさせていただきます、皆さんの友情と寛容をお願いします。

久保 忠正 会員

本日、6時30分より正次郎さんにて銘酒会を開催いたします、サカナはうなぎ、他です、お待ちいたしております。

松見 喜明 会員

先日の西ロータリークラブ、ゴルフコンペ真ん中賞を頂きました、感謝。

藤本 剛 会員

先週のゴルフコンペで初のニアピンと、馬券を頂きました、今度はスコアを良くなるようにがんばります。

川田 章博 会員

先日、鈴木会員はじめ本当に多くの当クラブの皆さんに私のエッセイ集「サウンドオブサイレンス」の発刊をお祝ひいただき有難うございました、些少ですが青少年育英基金として寄付させていただきます。

奥田 頼昌 会員

ニコニコ発表させていただきました。

ニコニコ  
献金

8月10日

36,000 円

累計

149,000 円 (8月10日現在)

◆プログラム

ロータリー情報委員会 岡田 武稔 委員長

皆さんこんにちは、今日はロータリー情報委員会の担当でございます、ロータリー情報委員会は年3回の例会を義務づけられております。今日はその第1回目として、鈴木享会員にロータリーあれこれということで卓話をお願いしたいと思います。尚、第2回目は10月に川田会員、それから翌年になりますが、6月には田中利昭会員にそれぞれ卓話をお願いするようにお願いしてあります。



今日の鈴木会員の話、それから後の2名の方もそうですが、情報委員会では新入会のためのオリエンテーションを計画していますが、それも含めた今日のお話なんかもそれに近いお話をしていただけるようにとお願いをしておりますので、どうかよろしくお願ひしたいと思います。

それから、一つだけお詫びをしたいのですが、実は僕が先々週の例会の時の委員長就任挨拶で、親子でうちの会員に席をおかれていた方のお名前申し上げましたが、その時に実は金尾会員とお父さんの事を紹介するのを、忘れてしまいましたので、金尾会員に対しては申しわけないと思っております、金尾会員お父さんとはやはり同じうちの会員だったので改めてご報告申し上げたいと思ひます。

それでは時間ちょうど30分ありますので、鈴木会員よろしくお願ひいたします。



## ロータリー「情報」あれこれ



鈴木 享会員

まず卓話の前に、先日、川田会員の本の出版記念に多くの方が集まって頂きました。発起人代表として心からお礼申しあげます。川田さんにも大変な散財をさせてしましまして、それについてもお礼申しあげます。有難うございました。

今日はロータリー情報ということについてですが、背伸びをしてお話をしたいと思います。

まずこの「情報」という言葉ですけれど、結構、厄介な言葉です。情報とはなにか、調べてみると三つの意味があるそうです。

まず1番目は、あるものごとの内容や事情、事実についての説明、つまり直接的な個別のお知らせ、簡単に言えば「あそこのラーメン屋おいしいぞ」とか、「こういうことやったら、儲かります」とか、そういう情報です。情報交換するとか、情報を流すとか、情報が漏れるとか、こういう類のところに使われる、これが一つ情報の意味だそうです。

2番目は言葉だとか文字や数字あるいはシンボルによって伝えられて、それを見たり受ける事で理解したり知識となったり判断のもとになる、要するに状況です。世の中の状況がこんな状況だなと我々が認識する、そういう事の中にいろんな情報が入っているという事で、情報時代とか情報社会と言われます。

3番目は生体、人間や動物、生き物が動くために用いられる指令とか信号、つまり神経とか、ホルモンです、或いは遺伝子DNA、これもまた情報といわれる。

情報とは何だろう、三つに分けて説明しましたが、私の場合、もう一つの情報があります。私独自のものですけれども情報の情、つまり情は非常にいい言葉で私、この言葉が大好きです。「情」が入る言葉に反応します。

ロータリーにも「友情」がありますが、情愛とか情熱、情感・情景・情緒・情事・情夫など「情」という字が入ってくるとワクワクしてきます。

歌にも「知床旅情」とか、「ひばりの佐渡情話」だとか、古いですけれどもピーナッツの「情熱の花」があり、テレビ番組にも「情熱大陸」というのがあります。

映画でも当然、この情という言葉はよく使われます。オードリー・ヘップバーンの「昼下がりの情事」とか「旅情」とか「慕情」とか「情婦マノン」を思い出します。「情」という文字がつくと、言葉の意味がこれほど色っぽく、そしてワクワクしてくるわけです。

ところが、この「情」に「報」という言葉をつけると「情報」となり、全く色気がなくなってしまうわけです。これだけがその例外だが、どうしてなのかわかりませんが、私は決して諦めません。「情報」という言葉の意味、私の場合の全く意味が違って「情に報い

る」とか「情に報いてよ」というふうを受け取ってしまう訳です。簡単にいえば、女性の方が私に想いを寄せてくれます、「それに報いて頂戴な」ということですが、経験のない皆さんにはなかなかわからない感覚でしようけれど、「情に報いる」とか「情に報いてよ」というのは、私は何度も経験があります。でもそれはいつも、なんかシャボン玉のようです。私の悪い癖ですが、美しいものはじっと見つめてしまう癖があります。ですから「女性の情」もシャボン玉も大変美しいから、綺麗だな、陽が当たってキラキラしてるな、そう思ってしばし見とれてしまうんですね、さて受け止めようとする時には時はすでに遅く、パチンとはじけてしまうという事になる、いつもチャンス逃すというふうになってしまいます。私の勝手な思いですが、こういう「情報」もあるのではないかなと思います。

こんな話では岡田委員長に叱られますので少し真面目な話に戻ります。

一般的な情報と言う時、私の頭に浮かんでくるのは、あの織田信長さんです。信長といえば桶狭間の戦いです。誰もが知っている話で、あの戯けと言われた若い信長が大国の今川義元を破った戦いです。これについては、諸説があるようですが、よく言われるのは、大軍の今川義元が油断をしていた、そこに信長が奇襲をかけて、たまたまというか運よく勝つことができた、ということですが、どうもそうでもないらしい。織田信長という人は決して無謀でもなく、一か八かの勝負をするような人でもない、むしろ用心深い人だったようです。常に、確かな情報をキャッチして、ここが大切なのですが、常識にとらわれないやり方をしていたらしいと言うことです。

家臣の中に梁田正綱という人がいたそうです。家臣といっても桶狭間の近くの土豪で地侍、元々はお百姓さんだから家来のなかでも下のほうの人です。

今川義元が次から次と敵を打ち負かして進軍してきた。そして正綱さんの近くの沓掛城というお城に入ったそうです。そこからどこに向かうか、が注目された中で、正綱さんは義元の動静を情報として伝えたそうです。

一つ目は、今川軍は4万と言われてるけど実は2万5000人ぐらいだ、そのうちの2万の兵力はあっちの方にいる、今川義元の本隊は5000人ぐらいだ。

二つ目の情報は、進んでいる方向から目的地は当時盟友関係であった徳川家康がいた大高城に向かっているらしい、そうすると時間的に桶狭間で昼食を摂り、休憩するのではないかと。

三つ目が決定的な情報になったわけですが、この日、今川義元は馬ではなく輿に乗っていた。今川義元さんは、京都の雅が大好きですから、こういう圧倒的な兵力がある時は鎧を着て馬に乗るのではなく、輿

に乗って都風に進んでいったようです。戦支度じゃないわけで、完全に信長を馬鹿にしている。さらに政綱は詳細な情報を持ってきた。今川本隊では先発隊が出て、昼食の用意をしている。それは桶狭間のこの地点という情報を信長さんに伝えたそうです。

信長はこの情報をもとに、桶狭間での奇襲作戦を考えた。このあたりに馬じゃなくて輿がある、そこを中心に攻撃せよという命令を出したそうです。信長さん2000人の兵力でしたけれども2000人で2万5000人と戦うのではなく、義元本隊の5000人と戦うのでもなく、ピンポイントで大将だけを狙ったということです。

それはまず「情報」があったからできたことだが、そうすると、運がよく雨も降ってきた、風も吹いてきて大乱戦になったけれども、逃げるに大変、攻めるには攻めやすい状況で、これは、運が良かったのかもしれないが、基には「情報」があったということです。

戦国時代は、大体にして調略でこうしたとか、豪傑が出てきて「やあやあ、我こそは」というのが相場だが、信長さんは初めて情報というものを大事にして、それを活用したと言えます。

さらに、これは参考にしなければならないと思いますが、当時は自分の家臣も信頼できないのが普通で、政綱さんもずっと下の家来ですから、そんな奴の情報は信頼できない。しかし、信長さんは情報を持って来た人の身分の上下にかかわらず、情報そのものをしっかりと見極める、それを重要視したという事らしいです、更に信長さんの偉いところはその情報を素直に受け入れて見極めて、そこからの展開力、実行力です。これは正に自分なんですね。この進め方こそが信長さんが歴史を変えていった元になるんじゃないかな、と思います。情報に接したとき、どう受け止めるかということが大事で、そこでその人の価値が決まるんじゃないかなと思います。

本題の「ロータリー情報」に関して言えば、我々アンテナとまでいなくても、受け入れる気持ちがあればこそ、その情報は大事な情報として生きてくるのではないかと思います。

そういう点から考えると、絶好の場所の一つがロータリーであると思います。

ロータリーでの情報は様々です。例会がありますし、飲み会もあります、ゴルフもあります。そういう中で交換する情報というのは、仕事の事かもしれませんし、新しいもの、世界に関わるもの、考え方、生き方、政治から芸能、あるいは失敗談もあります。そういういろんな情報が入ってくる。卓話がありますけれども、卓話というのは自分で探すことのできない情報に出会えることになるわけです。これらが混然となってあるのが、このロータリーではないかなと思います。

更に、素晴らしいのは、ロータリーには何も縛りもないということです。極めて自由なのです。しかも、40代から70代の人が集うロータリーですから、その幅の広さっていうことでも他に例がない場所です。ということは、もう「情報の泉」であると言うのがこのロータリーという場だと思えます。

大事にしたいものです。

「ロータリー情報」ということについてもっと知っていたければ、「ロータリーの友」、これを熟読してもらいたいと思います、これは情報の宝庫です。ロータリー情報委員会は、今年度33万2000円の大金を予算として組んでおります。それによって皆さんのところに毎月「ロータリーの友」が届きますので是非熟読してもらいたいです。それでもロータリー情報について足りないという方がいたら、さらにウェブサイト「ロータリー文庫」というのがありますので利用してください。2万4000点の資料が用意されています。

こちらに訪れてみてください。

<http://www.rotary-bunko.gr.jp/>

今日の私の話、「ロータリーの友」と「WEBサイト」の宣伝になってしまいました。

このままズルズル終わってしまうとみっともないので必死にまとめますと、ロータリーであっても、その他のことであっても、情報というのはきっと自分を豊かにしてくれると思います。そして、「情報」というのは人と人のその交流の中である、ロータリーは気楽に楽しく世代を越えて情報が行き交うところだ、というのが今日のまとめでございます。

時間がちょっと余ってしまいましたので、信長さん続きのお話をします。

今年の夏大変暑い日が続きますし、少し気温が下がって蒸し暑いという日が続いております。謹んで暑中お見舞いを申し上げます。

熱中症について皆さん、注意をされているでしょうけれども、夏であろうが冬であろうが、それぞれこの歳になってくると、ちょっとおかしいなと言うことを感じたり気になったりすることがあると思います。ぜひ、健康には気をつけていただきたいと思いますが、信長続きの健康法を一つ、ミニ情報です。昔から言われている事だが、「健康について気になれば、決戦川中島」という言葉があります。

つまり上杉謙信と武田信玄の戦いですが、どういう事かと言うと、つまり上杉「検診」を受けて、お医者さんの武田「進言」を率直に聞く、これがやっぱり一番安心だという事です。

川中島の戦いは12年間で5回あったが、10年間に5回ぐらい、2年に1回ぐらいお医者さんの診察を受けて規則正しい生活をするというのはやっぱり一番の健康法ではないかと思います。

この西クラブには、内科、循環器科、泌尿器科、神経科、整形、歯科、薬局はもちろん介護までそろっております、さながら総合病院ですからぜひ、そういう面でも活用していただきたいと思います。皆さん、どうぞお体を大事にしてください。

